

平成29年度不祥事ゼロプログラム検証結果

(A：目標達成B：ほぼ目標達成C：さらに努力する必要あり)

取組課題		目標	行動計画		検証結果
1	法令遵守意識の向上	常に公務員の自覚をもち、信用失墜行動を未然に防止する。	①	教職員の不祥事に関する新聞記事を回覧・掲示するなどして公務外非行防止の意識啓発を行う。	A
			②	職員同士お互いに声を掛け合って円滑なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりに努める。	B
2	わいせつ・セクハラ行為防止	人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	①	セクハラ・わいせつ行為の加害者にならないよう、セクハラ防止セルフチェックを実施し、意識啓発を行う。	A
			②	セクハラ・わいせつ行為に関する新聞記事や啓発資料を活用して情報を共有するとともに、研修を開催する。	B
3	体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を未然に防止する。	①	新聞記事や啓発資料などを活用して具体例を提示するとともに、研修会を実施して適切な指導を心がける。	B
			②	「校内人権窓口」の生徒への周知を図り、生徒が相談しやすい態勢づくりを目指す。	B
4	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理、調査書発行等のミスを未然に防止する。	①	成績処理、調査書・進路関係書類発行にあたっては、マニュアルに沿って業務を行ない、確認・点検を徹底する。	B
			②	入力・点検時には、必ず複数で点検・確認する。	B
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取り扱い、情報の流出を未然に防止する。	①	個人情報の取扱いに関する啓発資料やチェックシートを職員に配付して意識啓発を図り、研修会を実施して個人情報の流出を未然に防止する。	B
			②	個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図る。	B
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法規遵守を徹底し交通事故、飲酒運転を未然に防止する。	①	新聞記事や職員啓発資料などを活用して、朝の打ち合わせや研修会で交通事故・飲酒運転防止について意識啓発を図る。	A
			②	飲酒を伴う会合がある場合は、翌日への影響も含めて、自家用車（自転車を含め）の使用を控えることを徹底する。	A
7	業務執行体制の確保等	不適正な業務執行を未然に防止する。	①	日ごろから情報を共有し、気になることはそのままにせず、声をかけ合い、協力して業務を遂行する。	B
			②	6グループ間で業務内容を相互に共有し、協力しながら業務を執行する。	B
8	会計事務等の適正執行	公費・私費・現金管理に関するトラブルや不祥事を未然に防止する。	①	「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」についての理解を深め、公正な予算編成と適切な会計処理に努める。	A
			②	定期的に私費会計の執行状況を確認するとともに、私費会計、部費会計の取扱いに関する研修会を開催する。	A
			③	年2回会計監査を実施し、備品の現物照合を確実にを行う。	A
9	入学者選抜業務に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	①	入学者選抜制度についての校内研修会を行い、教職員への周知を図り、マニュアル励行を徹底する。	A
			②	職員啓発資料などを活用して、入学者選抜に係るこれまでの事故不祥事の事例などを周知して意識啓発を行い、事故不祥事の発生を未然に防ぐ。	A
10	服務規律の確保	教育公務員としての意識向上を図る。	①	兼業兼職・営利企業等への従事制限の手続きを徹底する。	A
			②	政治的中立を厳守する。	A

【平成 29 年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成 30 年度に取り組むべき課題】

(学校長意見)

○平成 29 年度の実績では、公務外非行、わいせつ・セクハラ事案、体罰等の不祥事ゼロを達成することができた。また、交通事故・違反、適正な会計事務、入学者選抜においても、ゼロプログラムの目標を達成することができた。

一方、職員相互の円滑なコミュニケーション・情報共有による風通しのよい職場づくり、複数担当による組織的な業務遂行による事故防止、個人情報への適切な管理、生徒に対する不適切な言動・指導の防止の 4 点については、まだ課題があることを組織として確認した。

したがって、県全体の重点課題の他、今年度組織的課題として認識した 4 点を本校の平成 30 年度不祥事ゼロプログラムにおける重点的取組課題としたい。